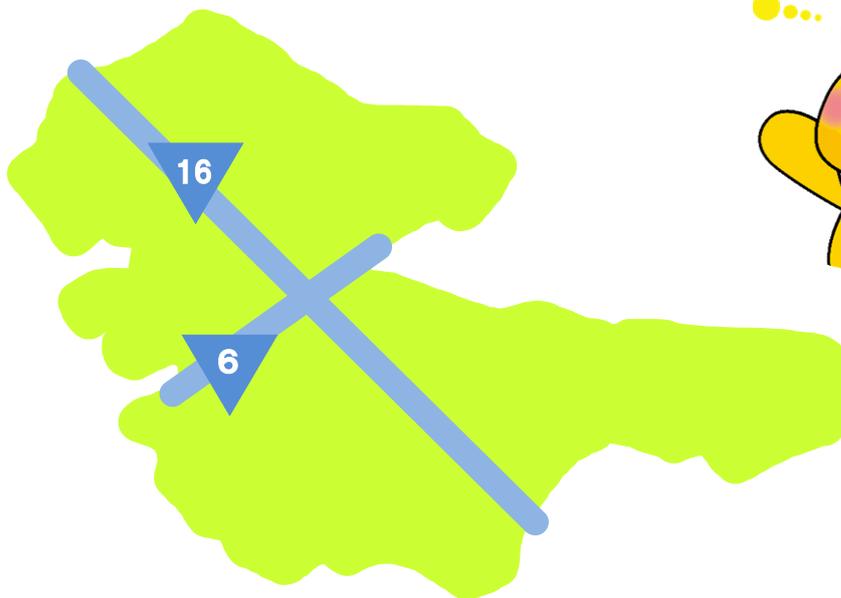


令和2年度

柏市の わかりやすい 予算



予算の「仕組み」と「主な事業」

平成23年度から、予算の概要をわかりやすく解説した「柏市のわかりやすい予算」を発行しています。市役所が法律に沿って作成する予算書は、一般的に聞きなれない用語や数字が整然と並んでいてわかりにくい作りとなっているため、この冊子では、表やグラフを交えながら、わかりやすくお知らせすることを心掛けています。

予算とはお預かりした税金をどのように使うかを決めることです。市が行う事業はたくさんありますが、限られた財源の中で、必要性や優先順位を考えながら事業を選択しています。

この「わかりやすい予算」を通して、どんな事業が行われているか、どれくらいの費用がかかっているかを知っていただき、今まで以上に市政に関心をもっていただきたいと思います。その上で、「この事業は、こんなに費用がかかっているなら問題だ」、「この事業の費用を、あの事業に回したほうが全体としては望ましい」などの具体的で建設的な議論につながることを期待しています。

令和2年3月
柏市長 秋山 浩保

— 目次 —

基礎知識～予算とは～	1
歳入	4
歳出	6
令和2年度予算編成のポイント	9
令和2年度の主な事業	10
資料集	17

詳しくは市ホームページで見ることができます。

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/040100/p052586.html>





基礎知識 ～予算とは～



予算って、何ですか？

予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

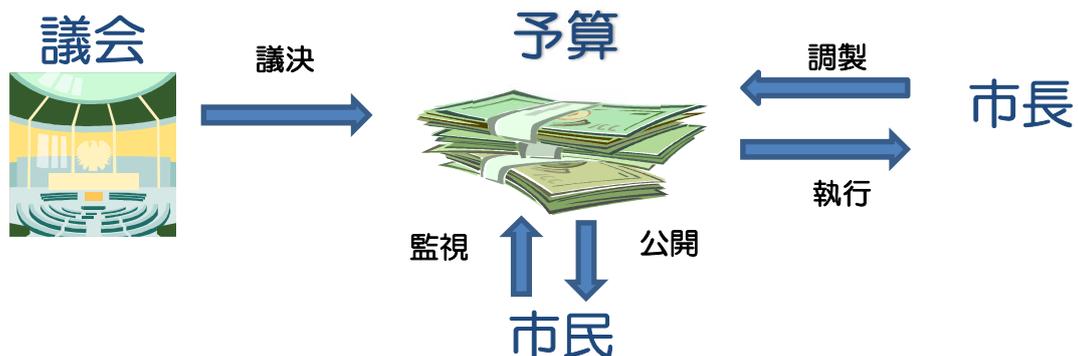
新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年の3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにして、どのような行政サービスを行うのかを計画し、その費用を見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書です。柏市に入ってくるお金のことを「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼んでいます。



予算は、誰が決めるの？

市長が予算案を作り、市議会へ提出します。そして、市議会の審議と議決によって、予算が成立します。

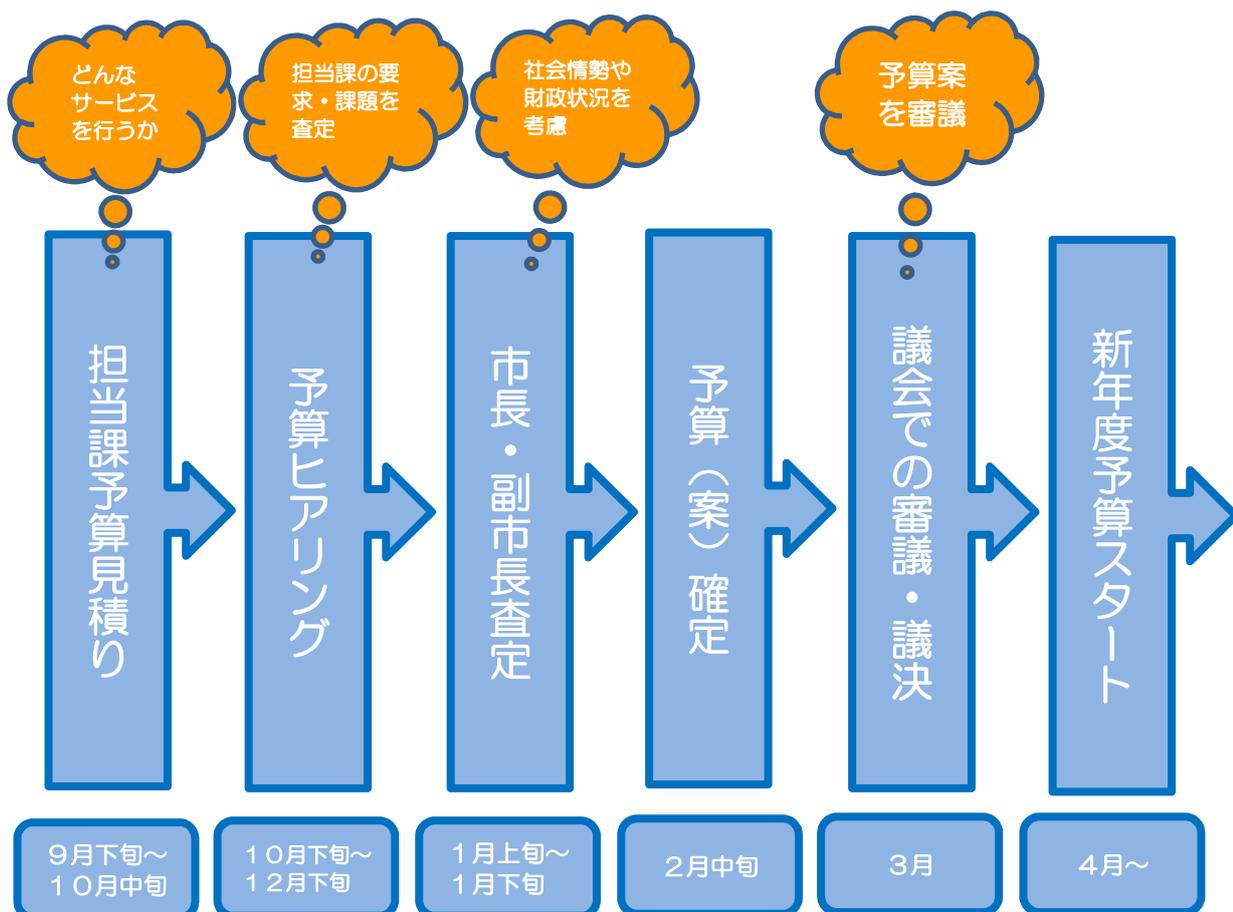
市長は、各担当部署の案を自分の考えにそって予算案としてまとめ、市議会に提案します。市民を代表する市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議した上で、市議会の議決により予算を決めます。





予算ってどうやって決まるの？

新年度の予算が決まるまでには、半年以上かかります。担当課は事業の課題を解決したり、新しい事業を実施するための予算を要望します。これを査定担当部局は、社会情勢や財政状況などを考慮し、実際にどのくらいのお金が必要なのか検討します。お金が足りない場合は優先順位をつけることも重要となります。



一度決めた予算は、変えられないの？

変えられます。補正予算といって、6月、9月、12月、3月の議会で変えることができます。

社会情勢の変化等により当初見積もった経費に見直しが必要となった場合は、変更する予算案をつくり当初予算と同じように市議会へ提出します。

例えば… 一般会計では、令和2年3月に公立の小中学校全校への校内LAN整備や、基金の積立てなどで約40億円を増額しました。



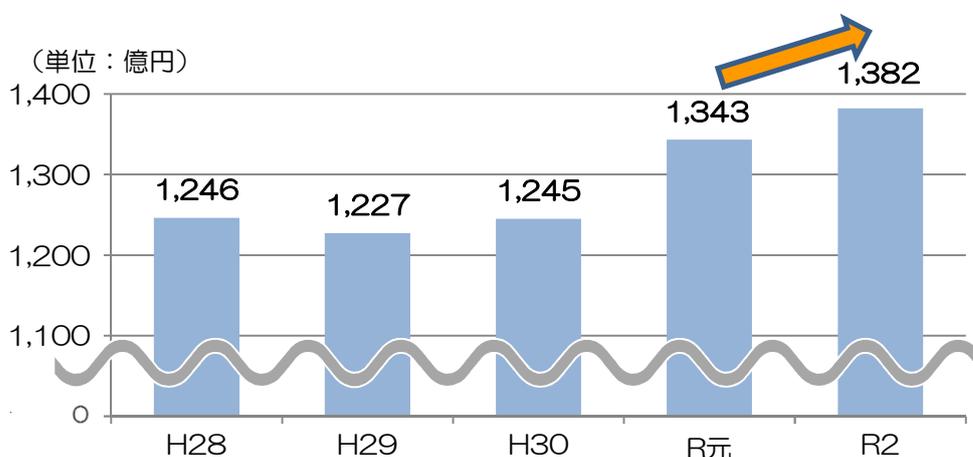
各会計の予算規模は、どのくらいあるの？

令和2年度は、次の金額を計上しています。

区分		予算額	前年度比 (増減額)	事業内容
一般会計		1,381億7,000万円	39億1,000万円	
特別 会計	国民健康保険事業	378億8,400万円	3億3,300万円	柏市の国民健康保険に加入している方の医療費を給付
	公設市場事業	17億7,700万円	10億6,200万円	公設市場の管理運営
	介護老人保健施設事業	1億3,300万円	△5,400万円	介護老人保健施設「はみんく」の管理運営
	介護保険事業	302億8,400万円	22億5,200万円	要介護・要支援者の方への保険給付など
	北柏駅北口土地区画整理事業	16億900万円	4億3,900万円	北柏駅北口の土地区画整理事業を実施
	学校給食センター事業	4億9,500万円	3,700万円	旧沼南地域の小中学校（11校）に給食を提供
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	4,600万円	400万円	母子父子寡婦の方への貸付け
	後期高齢者医療事業	59億3,100万円	3億6,100万円	75歳以上の方の医療費を給付
企業 会計	病院事業	5億9,016万円	3,923万円	市立柏病院の管理運営
	水道事業	144億1,400万円	8億2,300万円	水道水の供給及び水源・水道管の整備・維持管理
	下水道事業	164億4,600万円	8億7,400万円	雨水・汚水管の整備及び維持管理
計		2,477億7,916万円	100億8,023万円	

■一般会計予算額の推移

令和2年度は、会計年度任用職員制度の導入に伴う影響に加え、社会保障関係経費の増加や公共施設の老朽化対策、小学校の教室不足への対応などを実施するため、当初予算は増加しました。





歳入



一般会計には、どのような歳入があるの？

一般会計の歳入には、市税や国・県からの補助金、銀行からの借入れや施設の使用料などがあります。

■一般会計歳入予算

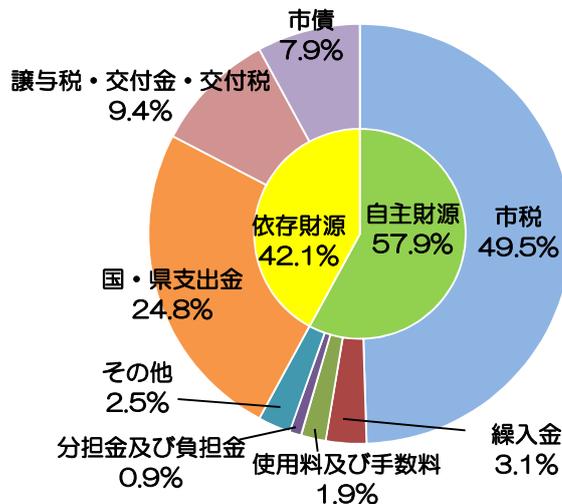
項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
自主財源	市が自主的に調達できる収入のことです。	800億1,976万円	11億2,175万円
市税	皆さまが柏市に納めた税金です。	683億9,000万円	2億2,100万円
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。	10億8,878万円	△2億1,924万円
使用料及び手数料	施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。	25億7,824万円	△1億9,235万円
繰入金	各種基金（貯金・運用資金）を取り崩して使うお金です。	43億3,856万円	12億8,188万円
その他	寄附金、不動産売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金などです。	36億2,418万円	3,046万円
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられる財源や市債（借金）のことです。	581億5,024万円	27億8,825万円
譲与税・交付金・交付税	皆さまが国に納めた税金の一部です。使いみちは決められていません。	128億7,300万円	5億6,752万円
国・県支出金	皆さまが国等に納めた税金の一部です。使いみちは決められています。	342億7,634万円	26億3,573万円
市債	銀行などからの借入れ（借金）です。	110億90万円	△4億1,500万円
計		1,381億7,000万円	39億1,000万円



ここがポイント

約6割が自主財源

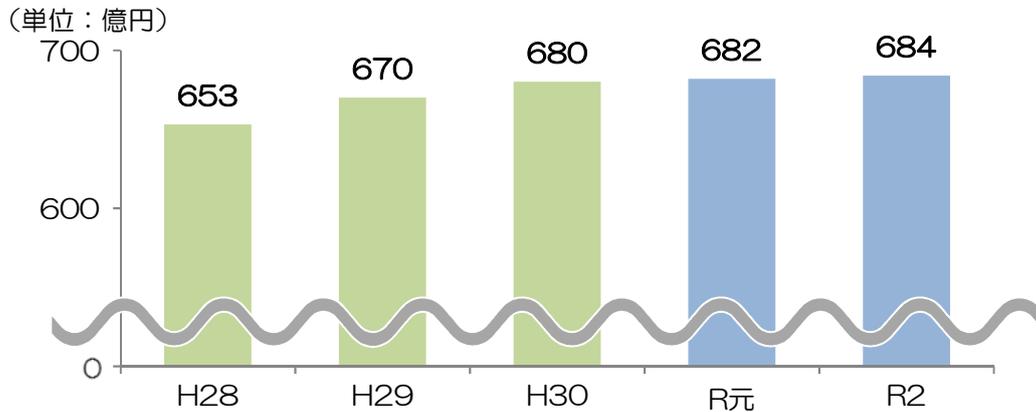
自主財源が多いほど、財政が安定し、自主的な事業をより多く行うことができます。自主財源の多くは市税です。このため、定住促進や企業誘致を推進し、経済の活性化に取り組む必要があります。





柏市の税収は、増えているの？

人口増などの影響により固定資産税の増収を見込む一方、制度改正の影響等から法人市民税が減収の見込みとなることから昨年度とほぼ同水準で推移しています。



※平成30年度までは決算額，令和元年度からは予算額の数値です。



ここがポイント

- 2つの要因**
- ① 固定資産税：家屋の新增築などにより4億8,300万円の増
 - ② 法人市民税：税制改正などにより5億6,900万円の減



柏市に入る税収は、何種類あるの？

柏市に直接入る税（市税）は、7種類あります。

■市税の種類

項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
個人市民税	市民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	288億9,300万円	△1億1,300万円
法人市民税	柏市内の会社が収益などに応じて納める税です。	38億7,200万円	△5億6,900万円
固定資産税	土地や家屋などを所有している方が納める税です。	258億7,200万円	4億8,300万円
軽自動車税	軽自動車などを持っている方が納める税です。	5億5,800万円	3,600万円
市たばこ税	たばこを買った方が納める税です。	23億700万円	2億5,200万円
事業所税	市内の一定規模以上の会社が納める税です。	14億9,100万円	4,800万円
都市計画税	市街化区域に土地や建物を持っている方が納める税です。	53億9,700万円	8,400万円
計		683億9,000万円	2億2,100万円



歳出

【目的別】



どんな分野（目的）の歳出があるの？

民生、土木、教育などの分野に分けて支出します。

■一般会計歳出予算（目的別）

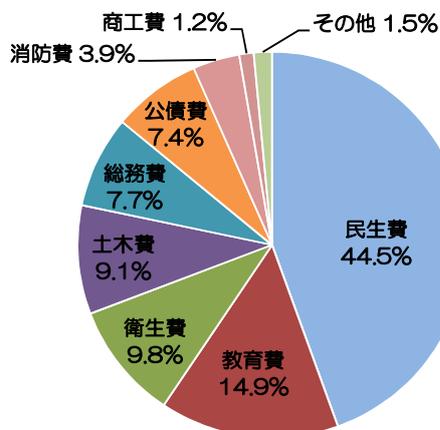
項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
議会費	議員の報酬や議会議務局職員の人件費、議会運営などに使う経費です。	6億6,894万円	△828万円
総務費	庁舎などの管理、財政管理、市税の賦課徴収、戸籍など市役所の全般的な仕事に使う経費です。	107億252万円	14億1,065万円
民生費	児童、高齢者、心身障害者などの支援や生活保護などに使う経費です。	614億6,018万円	17億5,807万円
衛生費	医療、公衆衛生、精神衛生、ごみなどの一般廃棄物の収集処理などに使う経費です。	134億7,886万円	5億4,507万円
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などに使う経費です。	5,513万円	△1,097万円
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及などに使う経費です。	10億8,620万円	△2億720万円
商工費	商工業の振興、中小企業の育成、企業誘致などに使う経費です。	16億3,781万円	△2億9,588万円
土木費	道路、河川、住宅、公園などの公共施設の整備や維持管理に使う経費です。	125億5,675万円	△9億9,007万円
消防費	火災、風水害、地震等の災害から市民を守るための経費です。	54億2,542万円	2億2,454万円
教育費	学校の建設・管理、生涯学習、文化財保護など教育行政に使う経費です。	205億6,926万円	29億6,805万円
公債費	事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債（借金）の返済金です。	102億2,893万円	△14億8,398万円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金です。	3億円	0
計		1,381億7,000万円	39億1,000万円



ここがポイント

民生費は、社会保障関係経費の増や待機児童対策などのため、前年度より増額となり、全体の4割以上を占めています。

教育費は、柏北部地域等の人口増による小学校の教室不足などに対応するため、増額となっています。



【性質別】



どんな性質の経費に分類できるの？

歳出は、人件費などの性質別に分けると、違った観点から特徴を見ることができます。

■一般会計歳出予算（性質別）

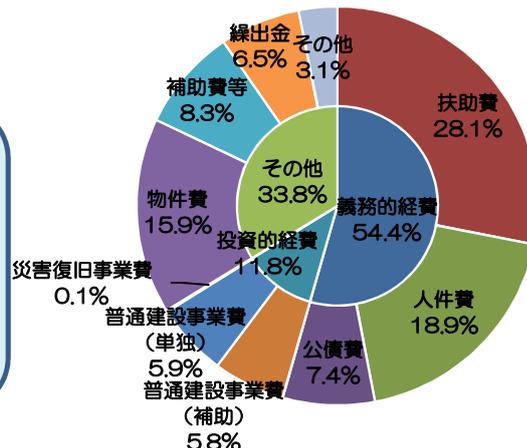
項目	説明	金額	前年度比 (増減額)
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費です。	752億1,640万円	45億8,577万円
人件費	職員の給料などに使う経費です。	261億7,586万円	47億9,037万円
扶助費	生活保護費、障害者支援費などの福祉や医療に使う経費です。	388億1,161万円	12億7,938万円
公債費	事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債（借金）の返済金です。	102億2,893万円	△14億8,398万円
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模改修など都市基盤の整備にかかる費用です。	162億7,318万円	5億960万円
普通建設事業費（補助）	普通建設事業のうち国からの補助があるものです。	80億5,099万円	5億780万円
普通建設事業費（単独）	普通建設事業のうち国からの補助がないものです。	80億6,364万円	△1億5,675万円
災害復旧事業費	大雨、暴風、地震などの災害により、被災した施設の復旧にかかる経費です。	1億5,855万円	1億5,855万円
その他の経費		466億8,042万円	△11億8,537万円
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などです。	219億9,090万円	△27億6,979万円
維持補修費	施設の維持管理に使う経費です。	14億4,623万円	1億8,355万円
補助費等	一部事務組合に対する負担金などです。	115億1,718万円	8億3,607万円
積立金	各種基金（貯金・運用資金）への積立金です。	1億6,605万円	3,346万円
投資・出資金	北千葉広域水道企業団・病院事業会計・下水道事業会計に対する出資金です。	11億1,210万円	△6,640万円
貸付金	中小企業融資資金預託金など市が一時的に貸し出す経費です。	12億1,553万円	△1億4,690万円
繰出金	特別会計の収入を補うための経費です。	89億3,243万円	7億4,464万円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金です。	3億円	0
計		1,381億7,000万円	39億1,000万円



ここがポイント

必ず支出しなければならない義務的経費が5割を超えています。

令和2年度は、普通建設事業費約9億円について、令和元年度補正予算への前倒しを行い、一体的に編成しています。





市民1人当たり，いくら使われているの？

市民1人当たり，約32万円になります。

(令和2年3月1日現在の常住人口：430,625人)

■一般会計歳入予算

項目	金額(円)
市税	158,816

■一般会計歳出予算(目的別)

項目	金額(円)
議会費	1,553
総務費	24,854
民生費	142,723
衛生費	31,301
労働費	128
農林水産業費	2,522
商工費	3,803
土木費	29,159
消防費	12,599
教育費	47,766
公債費	23,754
予備費	697
計	320,859

■一般会計歳出予算(性質別)

項目	金額(円)
義務的経費	174,668
人件費	60,786
扶助費	90,128
公債費	23,754
投資的経費	37,790
普通建設事業費(補助)	18,696
普通建設事業費(単独)	18,726
災害復旧事業費	368
その他の経費	108,401
物件費	51,067
維持補修費	3,358
補助費等	26,745
積立金	386
投資・出資金	2,582
貸付金	2,823
繰出金	20,743
予備費	697
計	320,859

★ ここがポイント

柏市に納めた税金約16万円に，国・県の補助金などを加えた金額を財源として，市民1人当たり約32万円の事業が行われます。



令和2年度予算編成のポイント

柏市が特に力を入れること

第五次総合計画の3つの重点目標の施策について優先的に取り組みます。

【充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち】

- ◆学びづくりフロンティアプロジェクトの推進 ⇒算数支援教員5人増員
- ◆国際理解教育に関する事業の推進 ⇒外国語授業支援員8人増員
- ◆特別支援教育の推進 ⇒教育支援員7人増員（うち医療的ケア2人）
- ◆人口増による小学校の教室不足に対応 ⇒3校で校舎の建替・増築を実施
- ◆私立認可保育園・認定こども園の整備 ⇒5園整備

【健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち】

- ◆介護予防事業 ⇒かしわフレイル予防ポイント制度を実施
- ◆高齢者の身近な相談機関である，地域包括支援センターを増設
- ◆介護の魅力の普及・啓発の推進など，介護人材確保に向けた取組を強化

【地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち】

- ◆柏北部地域のまちづくりの推進
- ◆オリンピック・パラリンピック関連イベントの開催
- ◆防災備蓄品の補充やハザードマップの配付など，防災対策を充実

総合計画に掲げる施策

第五次総合計画では，次の分野毎に各施策を位置づけています。



拡大

不登校児童生徒の支援		P495	
	担当課	児童生徒課	
	事業費	7,436万円	
	財源	補助	858万円
		借金	
市	6,578万円		

不登校児童生徒への相談体制を整備するとともに、スクールソーシャルワーカーを増やすなど、人的支援を強化することで児童生徒の学びの保証・居場所づくりを行います。

拡大

保育士人材確保の支援		P279	
	担当課	保育整備課	
	事業費	6億920万円	
	財源	補助	1億8,980万円
		借金	
市	4億1,940万円		

私立保育所等に勤務する保育士等の処遇改善や、保育士用宿舍借上げ費用に対して、補助金を交付します。

子育て世代包括支援センター		P341	
	担当課	地域保健課	
	事業費	4,253万円	
	財源	補助	2,036万円
		借金	
市	2,217万円		

妊娠から子育てに関する情報提供・相談体制の充実のため、総合相談窓口を設置しています。

乳幼児一時預かり事業		P271	
	担当課	子育て支援課	
	事業費	1,603万円	
	財源	補助	384万円
		借金	
市	1,219万円		

保護者の心理的・身体的負担の軽減を目的として、預かりの理由を問わない、多様なニーズに対応する乳幼児の一時預かりを実施します。

子育て世代の心身をケアし、児童虐待のない社会へ！

子どもを安心して産み育てられるまちを作ります！

子育て支援アドバイザーの配置		P270	
	担当課	子育て支援課	
	事業費	1,285万円	
	財源	補助	857万円
		借金	
市	428万円		

子育て支援サービスを円滑に利用できるよう、子育て相談や情報提供、関係機関との連絡調整を、子育て支援アドバイザーが、はぐはぐひろば沼南とはぐはぐひろば若葉で実施します。

私立認可保育園・認定こども園の整備		P279	
	担当課	保育整備課	
	事業費	14億2,743万円	
	財源	補助	12億1,444万円
		借金	
市	2億1,299万円		

保育の受入れを増やすため、引き続き私立認可保育園・認定こども園の整備に必要な費用を補助し、待機児童解消に取り組みます（5園整備予定）。

Ⅱ 健康・サポート

(介護会計) 介護予防事業		P710・711	
	担当課	地域包括支援課 ／福祉政策課	
	事業費	6,593万円	
財源	補助	2,429万円	
	借金		
	市	4,164万円	
各種フレイル予防事業の普及啓発や人材育成等を通じて、地域ぐるみのフレイル予防活動を支援します。			

(介護会計) かしわフレイル予防ポイント制度		新規 P710・711	
	担当課	地域包括支援課 ／福祉政策課	
	事業費	1,982万円	
財源	補助	697万円	
	借金		
	市	1,285万円	
気軽に楽しみながら健康づくりに取り組めるまちを目指し、フレイル予防活動への参加でポイントが貯まる制度を開始します。			

(介護会計) 地域包括支援センターの設置		拡大 P700	
	担当課	地域包括支援課	
	事業費	4億8,022万円	
財源	補助	2億7,317万円	
	借金		
	市	2億705万円	
地域包括支援センターを北部地域へ1か所増設し、市内12か所を運営します。また、沼南地域に相談窓口を開設し、健康や福祉に関する悩みなどに対応します。			

介護人材確保に向けた取り組みを強化		拡大 P202	
	担当課	高齢者支援課	
	事業費	910万円	
財源	補助	518万円	
	借金		
	市	392万円	
介護業界への就職を考えている方と介護サービス事業者とのマッチングを目的とした相談会などを開催し、多様な人材層へ介護の仕事の魅力を広めていきます。			

新規 ごみ出し困難者支援収集事業		P353	
	担当課	廃棄物政策課／南部 クリーンセンター	
	事業費	1,033万円	
財源	補助		
	借金		
	市	1,033万円	
家庭ごみ集積所にごみを出すことが困難で、市の定める一定の基準を満たす場合に、世帯ごとのごみ収集を実施します。			

障害者相談支援（機能強化）事業		新規 P249・250	
	担当課	障害福祉課	
	事業費	6,839万円	
財源	補助	2,022万円	
	借金		
	市	4,817万円	
障害のある方の身近な相談先として、24時間365日相談受付可能な地域生活支援拠点等に「地域生活コーディネーター」を配置します。			

フレイル予防を推進します！

加齢により心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態を「フレイル」といいます。柏市では、フレイル予防の3つの柱「栄養（食・口腔機能）・運動・社会参加」に着目した介護予防講座や人材育成を行い、身近な地域で気軽にフレイル予防に取り組めるよう推進していきます。

Ⅲ 経済・活力

拡大

柏北部地域のまちづくりの推進		P431		
	担当課	北部整備課		
	事業費	6億3,069万円		
	財源	補助	4,630万円	
		借金	3億6,020万円	
		市	2億2,419万円	
つくばエクスプレス沿線地域における土地区画整理事業等のまちづくりを進めていきます。				

拡大

農業生産力の拡大		P374・375		
	担当課	農政課		
	事業費	2億669万円		
	財源	補助	1億8,869万円	
		借金		
		市	1,800万円	
農業生産力の向上のため、施設整備や省力機械の導入費用の補助等を実施します。				

拡大

若者の職業自立支援		P369		
	担当課	商工振興課		
	事業費	1,424万円		
	財源	補助		
		借金		
		市	1,424万円	
職業的自立に向けての相談支援等を行うことで、若者が充実した職業生活を送れるような体制を整備します。また、対象世代を就職氷河期世代まで拡大します。				

企業誘致

P385・387

企業誘致		P385・387		
	担当課	商工振興課		
	事業費	5,270万円		
	財源	補助	2,200万円	
		借金		
		市	3,070万円	
ビジネス創出・活用支援事業のほか、企業立地促進事業奨励金、関係団体との連携による展示会への出展、有望企業へのPR活動を実施します。				

Ⅳ 地域のちから

拡大

音楽の街かしわの創出		P529		
	担当課	文化課		
	事業費	570万円		
	財源	補助		
		借金		
		市	570万円	
市民が気軽に音楽に触れ、楽しむことができる機会を増やします。				

東京2020オリンピック
・パラリンピック関連事業

P147・149

東京2020オリンピック ・パラリンピック関連事業		P147・149		
	担当課	スポーツ課		
	事業費	2,543万円		
	財源	補助		
		借金		
		市	2,543万円	
英国車いすテニス選手団との交流イベントや、聖火リレー時に柏市の魅力を生かした演出を実施することで、地域の国際化の推進につなげていきます。				

V 環境・社会基盤

拡大

都市公園の遊具更新		P449		
	担当課	公園管理課		
	事業費	1億4,794万円		
	財源	補助	3,900万円	
		借金	2,700万円	
市		8,194万円		
公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な公園遊具の更新を実施します。				

拡大

空家等の対策		P433・452・453		
	担当課	住宅政策課／住環境再生課		
	事業費	1,031万円		
	財源	補助		
		借金		
市		1,031万円		
所有者不明空家等に対する財産管理人選任申立を実施するほか、新たな空家活用制度を構築します。				

新規

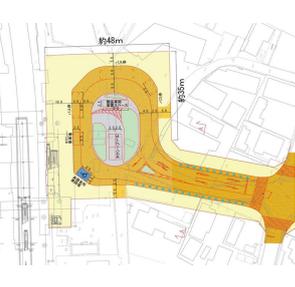
手賀の丘公園の魅力向上		P444		
	担当課	公園管理課		
	事業費	3,009万円		
	財源	補助		
		借金		
市		3,009万円		
公園利用の促進等を目的に、民間事業者によるキャンプ場・バーベキュー広場の管理運営を開始することに伴い、既存の公園設備を改修します。				

都市計画道路の整備		P439・440		
	担当課	道路整備課		
	事業費	1億8,628万円		
	財源	補助	2,387万円	
		借金	1,750万円	
市		1億4,491万円		
柏都市計画道路吉野沢高野台線・豊四季宿連寺線・高柳藤ヶ谷新田線・南柏逆井線を整備します。				

拡大

乗合旅客自動車の運行		P436		
	担当課	交通政策課		
	事業費	3,659万円		
	財源	補助		
		借金		
市		3,659万円		
予約型相乗りタクシー「カシワニクル」の運行区域を拡大するとともに、継続してかしわ乗合ジャンボタクシーを運行します。				

拡大

高柳駅東口駅前広場の整備		P417・437		
	担当課	道路整備課／市街地整備課		
	事業費	3,796万円		
	財源	補助		
		借金		
市		3,796万円		
高柳駅東口における駅前広場の設計や周辺まちづくりの検討を実施します。				



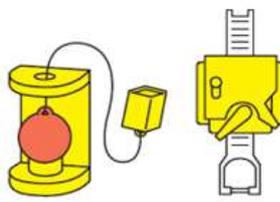
VI 安全・安心

拡大

緊急時における防災力の向上		P143・145	
	担当課	防災安全課	
	事業費	3,804万円	
	財源	補助	
		借金	
市	3,804万円		

避難所の備蓄品の計画的な補充に加え、ニーズの高い乳児用液体ミルクの備蓄を開始します。また、浸水想定区域内に位置する町会等へハザードマップを全戸配布します。

新規

感震ブレーカー設置補助		P464	
 <p>ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。</p>	担当課	火災予防課	
	事業費	300万円	
	財源	補助	
		借金	
市	300万円		

地震発生時の通電火災を防止するため、木造住宅所有者が感震ブレーカーを設置した場合に補助対象経費の3分の2（上限3,000円）を助成します。

新規

ちば北西部共同指令センター整備		P472	
	担当課	企画総務課	
	事業費	2,187万円	
	財源	補助	
		借金	
市	2,187万円		

消防指令業務の更なる効率化と災害情報の一元化による消防力強化のため、ちば北西部消防指令センターを共同運用します（2市共同→10市共同）

客引き等対策事業

P154・155

客引き等対策事業		P154・155	
	担当課	防災安全課	
	事業費	3,595万円	
	財源	補助	
		借金	
市	3,595万円		

安全安心な地域社会の実現のため、柏駅周辺を中心に客引き等対策事業を実施します。

VII マネジメント

持続可能な行政経営の実現

拡大

ホームページのリニューアル		P123	
	担当課	広報広聴課	
	事業費	3,848万円	
	財源	補助	
		借金	
市	3,848万円		

誰もが見やすく、利用しやすいホームページに内容を刷新します。

新規

遺族支援コーナーの開設		P165	
	担当課	市民課	
	事業費	776万円	
	財源	補助	
		借金	
市	776万円		

「遺族支援コーナー」を設置し、死亡に伴う各種手続をサポートすることで、ご遺族の負担軽減に取り組みます。

公共施設等の最適化

拡大

学校施設の長寿命化対策		P506・507		
	担当課	学校施設課		
	事業費	9億8,370万円		
	財源	補助	1億5,906万円	
		借金	6億1,820万円	
市		2億644万円		
土小学校の長寿命化改良工事と小学校1校の長寿命化改良設計を行います。				

新規

高田近隣センターの改修		P226・230		
	担当課	地域支援課		
	事業費	2,220万円		
	財源	補助		
		借金		
市		2,220万円		
高田近隣センターのリノベーション事業の設計を行います。				

文化施設の修繕等		P209		
	担当課	地域支援課		
	事業費	1億3,417万円		
	財源	補助		
		借金		
市		1億3,417万円		
アミューゼ柏の改修工事（プラザ舞台音響設備、プラザ舞台照明設備等）及び市民文化会館の舞台昇降装置修繕等を実施します。				

道路改良		P417		
	担当課	道路保全課		
	事業費	12億8,067万円		
	財源	補助	4億5,500万円	
		借金	4億500万円	
市		4億2,067万円		
道路の老朽化対策として、舗装や路面排水の整備を行います。				

新規

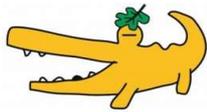
中央体育館の改修		P152		
	担当課	スポーツ課		
	事業費	8億2,200万円		
	財源	補助		
		借金	7億2,780万円	
市		9,420万円		
老朽化した中央体育館の改修工事を実施します。				

教育福祉会館の耐震改修等		P538		
	担当課	中央公民館		
	事業費	6億7,920万円		
	財源	補助	2,301万円	
		借金	5億9,050万円	
市		6,569万円		
教育福祉会館について、耐震補強及び老朽化した設備等を改修し、長寿命化を目的とした大規模改修工事を行います。				

公共施設マネジメントに取り組みます！

近隣センターや学校、道路・下水道など、公共施設等の老朽化が進んでいます。今後、対策に多額の費用が見込まれる中、良好な状態で次世代に引き継ぐことは重要な課題です。

市では、施設機能の見直しや統廃合なども視野に入れながら、長寿命化工事などの計画的な保全を進め、費用の縮減と安全性の確保、市民サービスの維持向上に努めていきます。

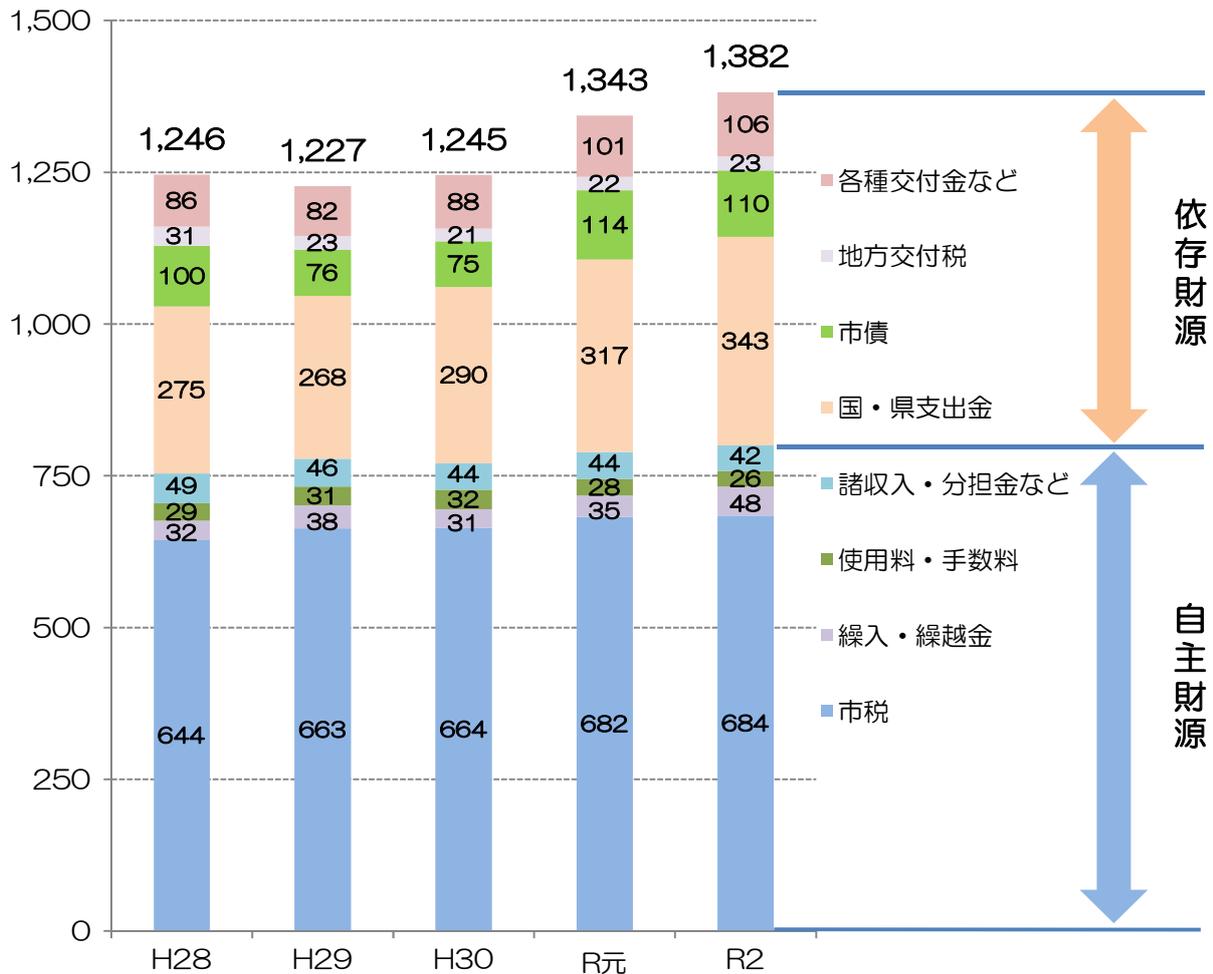


資料集

資料① 一般会計歳入の推移（当初予算比）

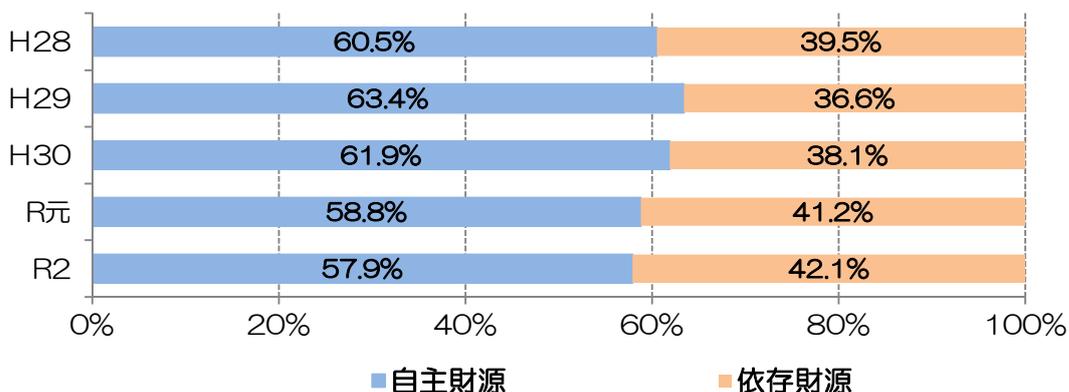
■一般会計 歳入の推移

（単位：億円）



市独自の事業を多く行うことができるよう、「自主財源」を増やす施策に取り組みます。

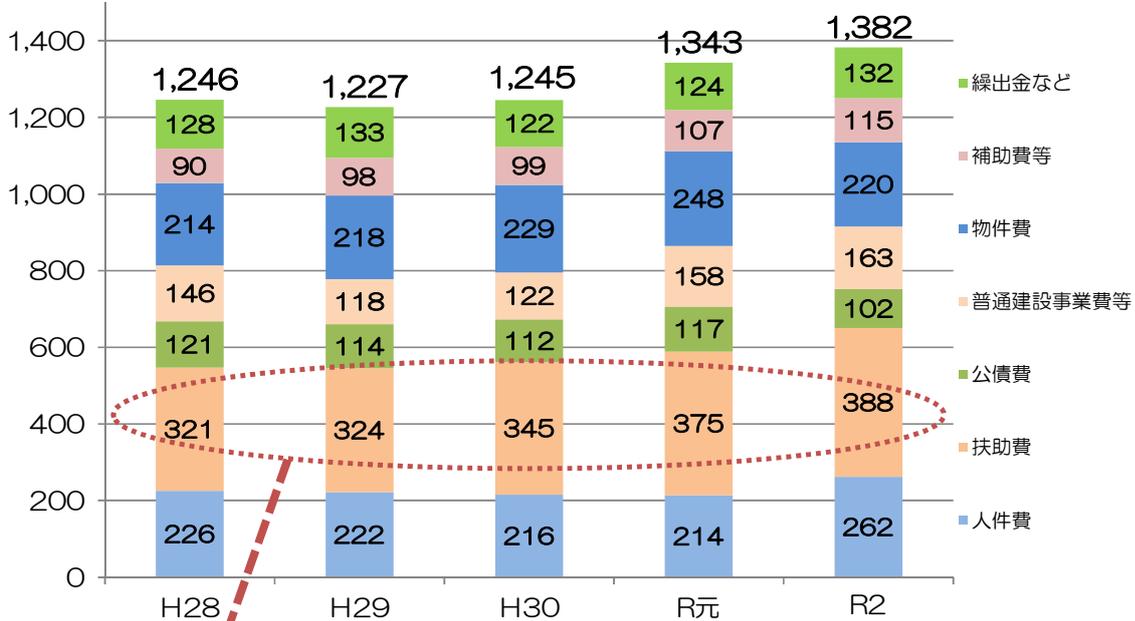
■一般会計 財源の推移



資料② 一般会計歳出と扶助費の推移（当初予算比）

■一般会計 歳出の推移

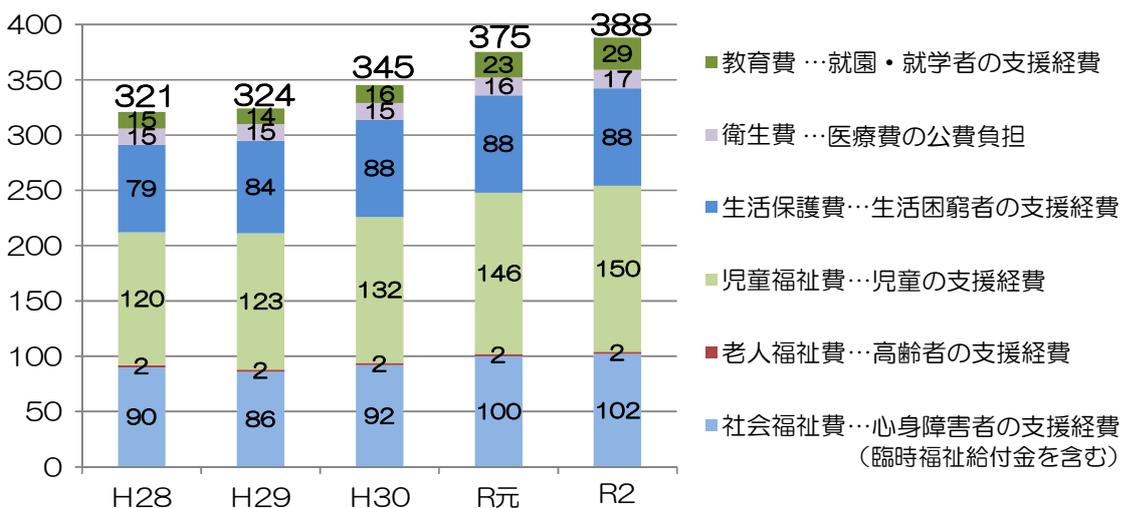
（単位：億円）



会計年度任用職員制度の導入に伴い、物件費が減り人件費が増えています。また、幼児教育・保育の無償化や少子高齢化などにより、扶助費が増加傾向にあります。
令和2年度は、教育費が約6億円、児童福祉費が約4億円、社会福祉費が約2億円増えるなどし、全体で約13億円の増となっています。

■扶助費の内訳

（単位：億円）



老人福祉が少ないのは、後期高齢者医療や介護保険などの事業が、別の会計で処理されているためです。

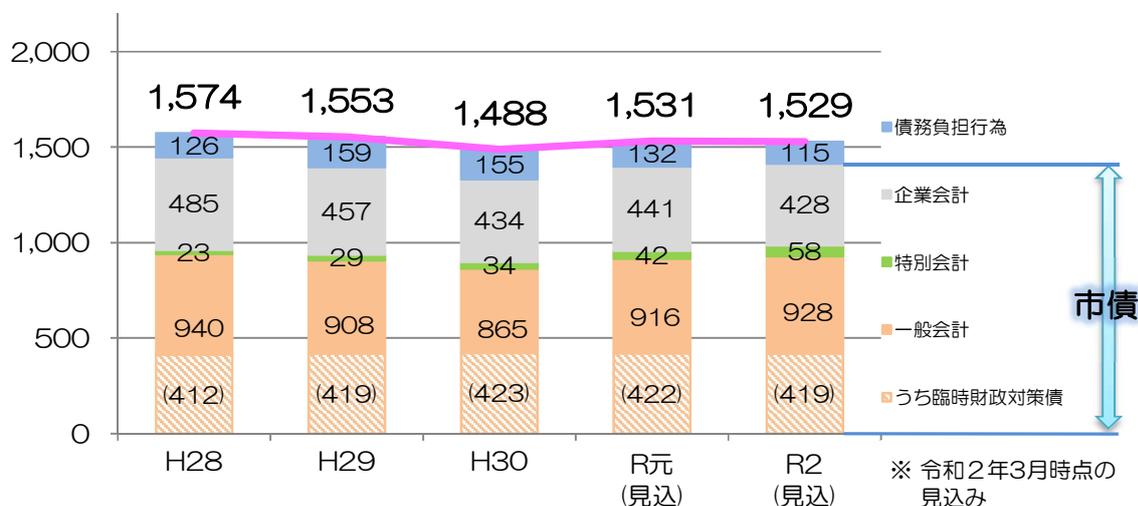
資料③ 柏市の債務（市債など）の残高

市全体の令和2年度末の債務残高は、約1,529億円になる見込みです。そのうち、一般会計・特別会計・企業会計を合わせた市債残高（借金）は約1,414億円で、将来の支払いを約束した債務負担行為は約115億円です（債務負担行為は、主に土地開発公社に先買いを依頼した土地を市が買い戻すための支払いです）。

将来負担に留意しながら、市債（借金）の計画的な活用を図ったほか、土地開発公社からの用地購入を予定しているため、債務残高は前年度比約2億円の減を見込んでいます。

■債務残高の推移

（単位：億円）



どうして借金をするの？

市債（借金）には、「毎年の支出を平均にする役割」と「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」があります。

学校や道路などの公共施設の建設には、一時期に多額のお金が必要になります。これをその年度の収入だけで賄ってしまうと、他の事業ができなくなってしまいます。また、公共施設は現在の市民だけでなく、長期間にわたって将来の市民も利用するものであるため、公平にその費用を負担してもらうという意味から市債を活用しています。



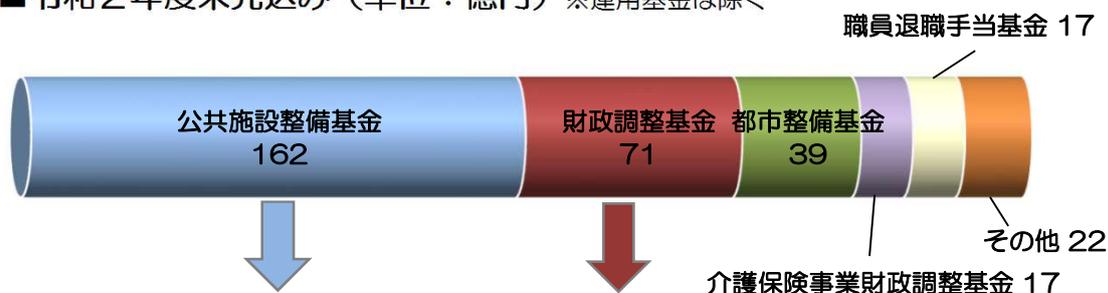
臨時財政対策債とは？

臨時財政対策債は、本来は地方交付税として国から交付されるべきお金を、市が一時的に借金をして立て替えているものです。借金の返済にあたっては、国から分割してお金が交付される仕組みですが、返済するまでは市の債務として計上されます。

資料④ 柏市の基金（貯金）残高

令和2年度末の基金残高は、約328億円になる見込みです。基金は特定の目的達成や財源不足を補うために設けています。柏市の歳入・歳出予算には、その取崩しや積立てが含まれています。

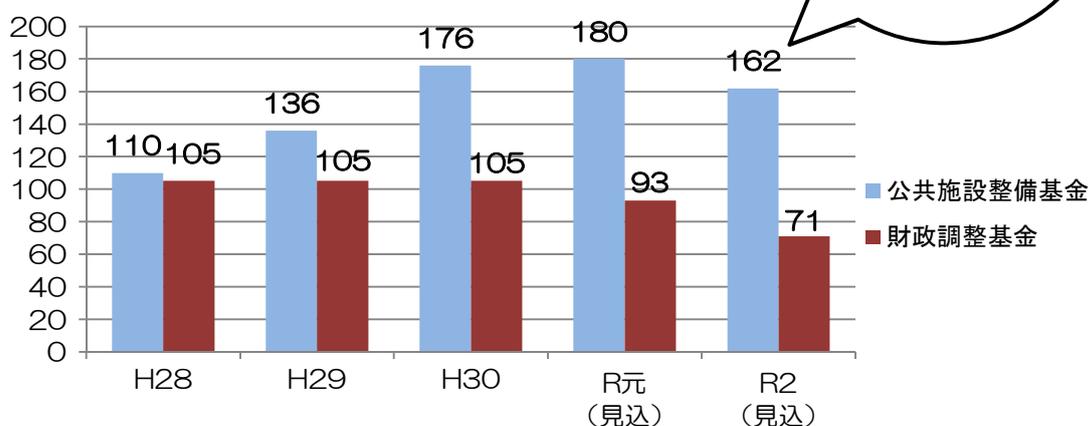
■令和2年度末見込み（単位：億円）※運用基金は除く



公共施設整備基金は、老朽化した公共施設の改修や更新に伴う財政負担に備えるためのものです。一方、**財政調整基金**は、景気の変動や国の制度改革による収入の減少、災害などの突然の支出に備えるためのものです。

■公共施設整備基金・財政調整基金残高の推移

(単位：億円)



令和2年度は、アミューゼ柏の修繕や小学校の校舎建替などに充当します。

■市民1人当たりの債務と貯金

令和2年度末の見込額を令和2年3月1日現在の常住人口430,625人で割ると…



市民1人当たりの債務残高は
約35万5千円



市民1人当たりの基金残高は
約7万6千円

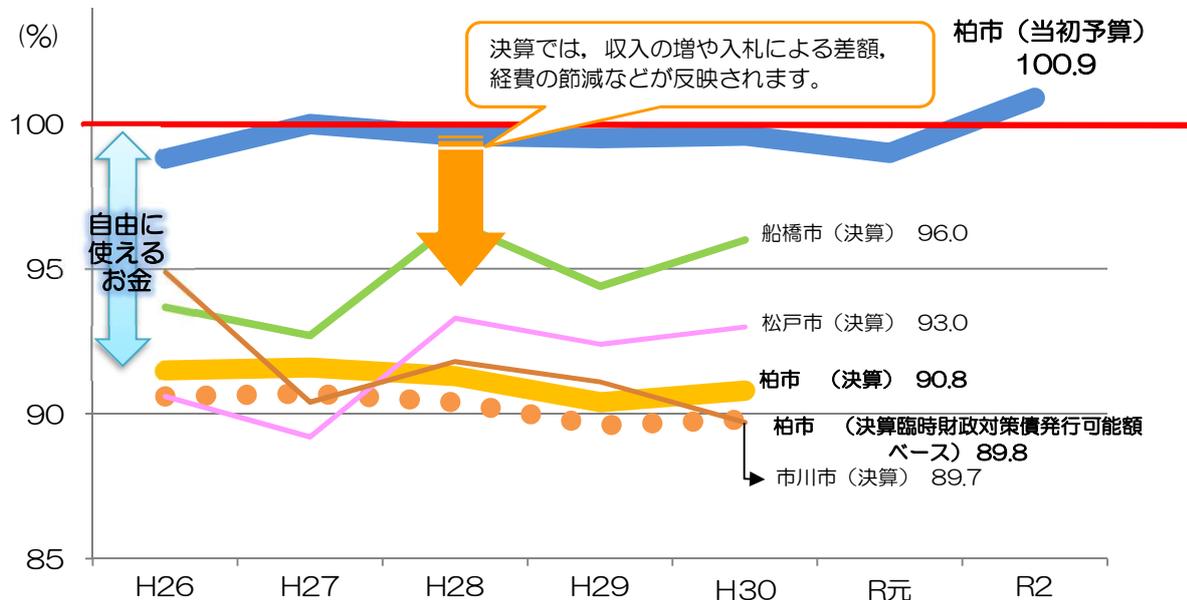
資料⑤ 各種財政指標の推移（普通会計※ベース）

■ 経常収支比率の推移

「経常収支比率」は、財政の硬直化を示す指標ですが、見方を変えると「自由に使えるお金がどれくらいあるか」を示す指標になり、財政の余力（ゆとり）を測ることができます。

比率は、市税など毎年度決まって収入されるお金が、人件費、公債費、扶助費などの必ず支払わなければならない経費にどれくらい使われているかを示していて、数値が低いほど財政に余裕があるというものです。

近年は、市税収入が横ばいの中、扶助費などが増加しているため、当初予算では経常収支比率が100%前後で推移しています。そのため、基金（貯金）の取崩しを見込んで予算を編成しています。一方、決算では、経費の節約などにより基金を取り崩さないよう運営していきます。



★ 数値について…

一般的に市では70~80%程度が望ましいと考えられていて、80%を超えると財政に余裕がないと言われています。自由に使えるお金が少ないと、社会情勢の変化や市民のニーズに対してすぐに対応できないため、「財政に弾力性がない」とか「財政が硬直化している」といいます。

★ 家計に例えると

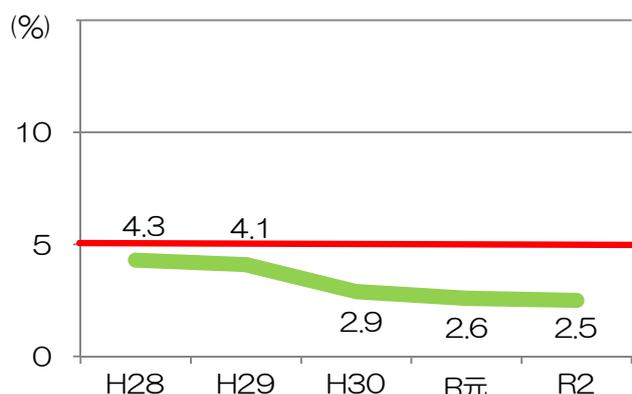
給料に占める食費やローン返済額の割合のようなもので、比率が低ければ自由に使えるお金が多くなるというものです。比率が100%を超えるということは、食費などの決まった支払いだけで給料がすべて出ていってしまい、貯金や借金に頼らないと家計が成り立たないことを表します。

※普通会計とは、他市との比較に使う会計です。柏市の普通会計は、一般会計に特別会計のうち北柏駅北口土地区画整理事業、学校給食センター事業、母子父子寡婦福祉資金事業の3つの会計を合わせたものです。

■実質公債費比率の推移

「実質公債費比率」は、借金の返済額が身の丈にあったものかどうかを判断する基準です。1年間の収入に対してその年の借金返済額がどれくらいの割合になるのか、借金返済の負担が大きすぎないかチェックするものです。

この割合が25%を超えるとイエローカードですが、柏市では基準値を5%に定めて、それを下回るように行財政運営を行います。



※平成30年度までは決算，令和元年度からは予算上の数値です。

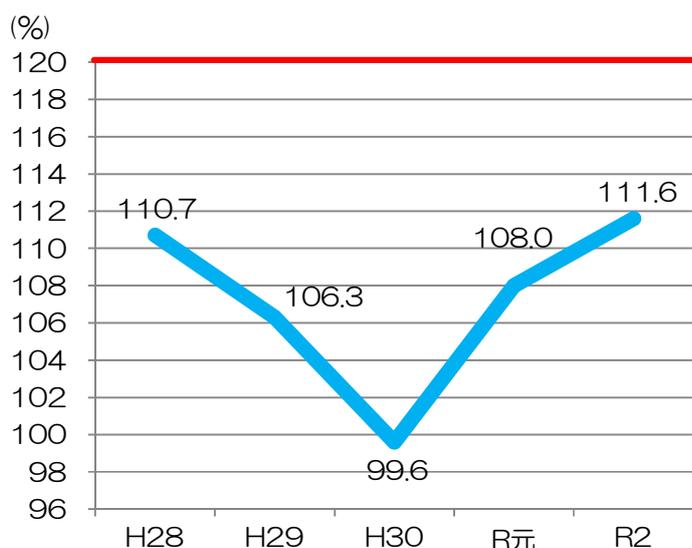
★ 家計に例えると

家や車のローン，クレジットカードで買い物をした支払いなどの返済額が，年収の25%以上となった場合は，借金潰けの可能性が高いということで危険信号です。

■市債残高比率の推移

「市債残高比率」は、借金の残高（貯金で返済可能な額を除く）が1年間の収入に対してどれくらいあるかを示す指標です。借金の大きさをわかりやすくお伝えするため、柏市が独自に設定したものです。

柏市では借金の残高を増やさないことを基本としていることから、今後も現状の水準を維持していくため、基準値を120%に定めて、行財政運営を行っています。



※平成30年度までは決算，令和元年度からは予算上の数値です。

比率が120%の場合，貯金で返せる分を除いた借金の総額が，市税など通常見込まれる1年間の収入の1.2倍あることになります。



●ホームページでは、次の情報を公表しています。

ホーム → 市政・広報 → 財政

-  予算 → わかりやすい予算，各年度の予算案の概要，当初予算説明書等
-  決算 → どうなっているの柏市の財政，決算概要，決算カード，決算報告書，補助金の交付状況，市税の推移
-  財政公表 → 柏市の借金時計，各年度の財政公表
-  財政指数・比較
-  財務書類（財務諸表）
-  柏市土地開発公社の財政状況

■ どうなっているの柏市の財政

決算を中心に、柏市の財政状況をわかりやすく解説しています。

■ 柏市の借金時計

柏市の市債残高（借金は）
2020年 3月 5日 13時 51分 18秒 現在

1,408 億 7,246 万 4,592 円

4種類の表示ができます。表示したい項目の○をクリックして選択して下さい。
 総会計（一般会計+特別会計+企業会計）
 一般会計
 市民一人あたりの残高（総会計）
 市民一人あたりの残高（一般会計）

1時間あたり 市債残高は **-3 万 9,877 円** 1秒あたり 市債残高は **-11 円**

動きます。 動きます。

* この借金時計は、市債残高の増減（見込）額を時計の形で示したものであり、表示時点での実際の残高とは異なります。
 * この残高の中には、後年度に国からの交付税措置があるものも含まれており、全てが市民の負担となるわけではありません。
 （補足）
 市民一人あたりの市債残高は、平成31年3月31日現在の人口（421,057人）で算出しています。
 一時間・一秒間あたりの数値で、小数点以下のものは「0円」で表示しています。
 詳しくは借金時計補足資料をご覧ください。

詳しくは市ホームページで見ることができます。





「おいでよ! カシワニ」は、柏の街をPRし、盛り上げるため、
柏市インフォメーション協会が考案したオリジナルキャラクターです。

柏市のわかりやすい予算 令和2年度版

発行年月 令和2年3月

発行 柏市

お問い合わせ先 柏市 財政部 財政課

〒277-8505 千葉県柏市柏五丁目10番1号

電話 04-7167-1120

FAX 04-7167-1210